



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月11日

上場会社名 イサム塗料株式会社  
 コード番号 4624 URL <http://www.isamu.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 倍章

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 糸洲 治夫

TEL 06-6453-4511

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	7,486	5.8	619	6.5	787	5.3	539	2.9
2019年3月期	7,945	1.0	662	12.4	832	11.5	555	10.7

(注) 包括利益 2020年3月期 484百万円 ( 11.4%) 2019年3月期 546百万円 ( 16.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	282.75		3.7	4.3	8.3
2019年3月期	291.18		3.9	4.6	8.3

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	18,338	15,321	81.5	7,834.80
2019年3月期	18,308	14,936	79.6	7,639.93

(参考) 自己資本 2020年3月期 14,937百万円 2019年3月期 14,567百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	610	673	111	2,636
2019年3月期	641	459	113	2,810

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		25.00		25.00	50.00	95	17.2	0.7
2020年3月期		25.00		25.00	50.00	95	17.7	0.6
2021年3月期(予想)								

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点では業績の合理的な見積りが困難なため、業績予想は未定としております。業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	2,400,000 株	2019年3月期	2,400,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	493,499 株	2019年3月期	493,371 株
期中平均株式数	2020年3月期	1,906,565 株	2019年3月期	1,906,745 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	6,880	6.2	429	9.5	618	5.9	445	2.0
2019年3月期	7,331	0.8	474	18.4	657	14.7	455	12.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	233.62	
2019年3月期	238.40	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	16,051	13,209	82.3	6,928.37
2019年3月期	16,144	12,945	80.2	6,789.63

(参考) 自己資本 2020年3月期 13,209百万円 2019年3月期 12,945百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項につきましては添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) .....	11
(連結貸借対照表関係) .....	13
(連結損益計算書関係) .....	13
(連結包括利益計算書関係) .....	14
(連結株主資本等変動計算書関係) .....	14
(連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	16
(セグメント情報等) .....	16
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、2019年中は、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で米国政権の政策動向や通商問題、欧州における政治不安の再燃や中東情勢に起因する原油価格の動向、相次ぐ自然災害の経済に与える影響など、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続いておりました。

加えて2020年3月期決算を迎えるにあたり、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益、雇用・所得環境や個人消費は急速に悪化し、景気の先行きは極めて不透明なまま事業年度を終了しました。

このような環境のもと、当社グループは、自動車補修用市場でのシェア拡大を図るため、顧客ニーズに沿った環境対応型塗料や高機能性塗料で販路拡大を図るとともに、大型車両分野や工業用分野などの新規市場開拓や建築用塗料の受注増加に向けた積極的な営業活動を展開いたしました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、74億86百万円（前年同期比5.8%減少）となりました。利益面につきましては、製品の統廃合や総原価低減に取り組んだものの、原材料価格、物流コスト等の上昇により、営業利益は6億19百万円（前年同期比6.5%減少）、経常利益は7億87百万円（前年同期比5.3%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は5億39百万円（前年同期比2.9%の減少）となりました。

#### ①塗料事業

売上高は、73億84百万円（前年同期比5.8%減少）、営業利益5億70百万円（前年同期比6.3%減少）であります。

分野別の販売状況は、自動車補修用塗料分野では、環境対応型製品として、主力の低VOCベースコート「アクロベース」やハイソリッドクリヤー「アクセルクリヤー」シリーズで市場占有率の向上を図るとともに、環境対応への要請が強いユーザーを中心に特化則対応でP R T R法届出対象外の1液ベースコート「ハイアートNext」で新規ユーザーの獲得に努めました。合わせて、水性1液ベースコート塗料「アクアスDRY」では主力ユーザーへの普及促進を行いました。また、大型車両分野・各種工業用分野を中心に2液ウレタン樹脂塗料「ハイアートCBエコ」で新規市場でのユーザー獲得に注力し、堅調に推移いたしました。さらに、調色作業を標準化・システム化した測色機「彩選短スマート」の販売を促進し、ユーザーの作業効率改善や若年者の技術教育に大きく貢献いたしました。

建築用塗料分野におきましては、主力の「ネオシリカ」シリーズに加え、J I S A 6 0 2 1取得の外壁用塗膜防水材「アトロンエラストマー」、内装用光触媒塗料「エアフレッシュ」など、各種用途に特化した製品を展開いたしました。また、タイル床面等滑り止めの「スキッドガードシリーズ」では、高耐久性を実現した無溶剤2液型ウレタン樹脂塗料「スキッドガードTOUGH」、水性1液型アクリル樹脂塗料「スキッドガードAQUA」の販売促進に取り組みました。

工業用塗料につきましては、ユーザーの環境重視志向を背景に「ハイアートCBエコ」の拡販に注力するとともに、従来の水性塗料と比較して乾燥性・光沢を大幅に向上させた1液型水性アクリル樹脂塗料「アクアシャインGA」において、引き続き個々のユーザーに対応して積極的な個別営業活動に取り組みました。

エアゾール分野におきましても、工業用向け補修用スプレー「エアラッカーエコ」が堅調に推移したほか、2液内部混合型エアースプレー「エアーウレタン」、1液カラークリヤー「キャンディーカラー」の新色の追加により、D I Y分野での需要が増加いたしました。

#### ②その他

売上高は、1億2百万円（前年同期比0.7%減少）、営業利益49百万円（前年同期比9.0%減少）であります。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末と比べ30百万円増加して183億38百万円となりました。

資産の増加の主なものは、有価証券3億1百万円、投資有価証券2億88百万円、減少の主なものは受取手形及び売掛金3億24百万円、現金及び預金1億74百万円であります。

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末に比べ3億55百万円減少して30億17百万円となりました。

負債の減少の主なものは、電子記録債務1億60百万円、役員退職慰労引当金87百万円であります。

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ3億85百万円増加して153億21百万円となりました。

増加の主なものは、利益剰余金4億44百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は1.9ポイント上がり、81.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前当期純利益7億67百万円、定期預金の払戻6億円、有価証券の償還3億円などの増加がありましたが、投資有価証券の取得6億1百万円、定期預金の預入6億円などがあり、全体として期首残高より1億74百万円減少し、26億36百万円(前連結会計年度末28億10百万円)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は6億10百万円(前連結会計年度6億41百万円)となりました。

その主な要因は、増加した資金では、税金等調整前当期純利益7億67百万円などがあり、減少した資金では、法人税等の支払額2億49百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は6億73百万円(前連結会計年度4億59百万円)となりました。

その主な要因は、増加した資金では、定期預金の払戻6億円、有価証券の償還3億円などがあり、減少した資金では、投資有価証券の取得6億1百万円、定期預金の預入6億円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は1億11百万円(前連結会計年度1億13百万円)となりました。

その主な要因は、配当金の支払額95百万円などによるものであります。

(3) 今後の見通し

今後の経済の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期や感染拡大による影響が見通せず、先行きは極めて不透明な状況であります。

当社グループを取り巻く状況も予断を許さず、業績の合理的な見積りが困難なため、業績予想は見送ることいたします。今後、合理的な業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,820,251	4,645,938
受取手形及び売掛金	2,447,726	2,124,207
有価証券	900,022	1,201,125
商品及び製品	915,250	887,620
仕掛品	124,250	123,713
原材料及び貯蔵品	186,622	202,542
その他	40,283	32,585
貸倒引当金	△12,200	△13,276
流動資産合計	9,422,204	9,204,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,755,970	2,777,408
減価償却累計額	△1,681,981	△1,744,432
建物及び構築物 (純額)	1,073,989	1,032,976
機械及び装置	567,149	576,902
減価償却累計額	△420,161	△459,778
機械及び装置 (純額)	146,988	117,124
工具、器具及び備品	426,997	430,641
減価償却累計額	△403,396	△402,486
工具、器具及び備品 (純額)	23,601	28,155
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	59,569	79,554
減価償却累計額	△38,649	△49,324
リース資産 (純額)	20,920	30,230
その他	—	282
減価償却累計額	—	△141
その他 (純額)	—	141
有形固定資産合計	2,609,965	2,553,093
無形固定資産		
ソフトウェア	15,075	38,925
施設利用権	1,017	570
電話加入権	6,555	6,555
リース資産	823	44
無形固定資産合計	23,470	46,094
投資その他の資産		
投資有価証券	4,256,346	4,544,445
長期預金	1,200,000	1,200,000
保険積立金	601,177	536,174
繰延税金資産	179,482	218,427
その他	23,948	42,530
貸倒引当金	△8,257	△6,876
投資その他の資産合計	6,252,696	6,534,700
固定資産合計	8,886,131	9,133,887
資産合計	18,308,335	18,338,341

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	435,687	383,031
電子記録債務	1,298,212	1,138,677
リース債務	11,318	9,007
未払金	207,722	176,037
未払法人税等	130,596	91,457
未払消費税等	25,511	32,571
前受金	4,103	4,185
預り金	73,646	67,898
賞与引当金	116,007	113,542
その他	44,726	42,314
流動負債合計	2,347,528	2,058,719
固定負債		
長期預り保証金	262,141	266,674
リース債務	12,405	24,139
繰延税金負債	32,591	40,044
役員退職慰労引当金	163,257	76,007
修繕引当金	82,500	90,000
退職給付に係る負債	472,218	461,788
固定負債合計	1,025,112	958,652
負債合計	3,372,640	3,017,371
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,210,130	1,210,130
利益剰余金	12,777,653	13,221,408
自己株式	△981,269	△981,734
株主資本合計	14,296,914	14,740,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	269,595	196,851
その他の包括利益累計額合計	269,595	196,851
非支配株主持分	369,186	383,915
純資産合計	14,935,695	15,320,970
負債純資産合計	18,308,335	18,338,341

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	7,945,368	7,485,871
売上原価	※2,※3 5,466,415	※2,※3 5,100,972
売上総利益	2,478,953	2,384,899
販売費及び一般管理費	※1 1,816,887	※1 1,765,867
営業利益	662,066	619,032
営業外収益		
受取利息	762	410
有価証券利息	17,300	12,152
受取配当金	19,167	19,468
受取賃貸料	51,802	51,493
塗装情報サービス会費	66,946	63,607
生命保険満期差益	23,189	10,650
負ののれん償却額	5,786	—
その他	17,580	15,501
営業外収益合計	202,532	173,281
営業外費用		
支払利息	799	803
支払補償費	17,371	1,692
たな卸資産廃棄損	7,835	—
貸倒引当金繰入額	4,625	1,961
その他	2,193	559
営業外費用合計	32,823	5,015
経常利益	831,775	787,298
特別利益		
投資有価証券売却益	1,294	—
特別利益合計	1,294	—
特別損失		
たな卸資産廃棄損	—	19,694
災害による損失	2,244	784
特別損失合計	2,244	20,478
税金等調整前当期純利益	830,825	766,820
法人税、住民税及び事業税	263,767	211,412
法人税等調整額	△6,497	△859
法人税等合計	257,270	210,553
当期純利益	573,555	556,267
非支配株主に帰属する当期純利益	18,342	17,180
親会社株主に帰属する当期純利益	555,213	539,087

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	573,555	556,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,882	△72,749
その他の包括利益合計	※ △27,882	※ △72,749
包括利益	545,673	483,518
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	527,329	466,342
非支配株主に係る包括利益	18,344	17,176

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,290,400	1,210,130	12,317,779	△980,379	13,837,930
当期変動額					
剰余金の配当			△95,339		△95,339
親会社株主に帰属する当期純利益			555,213		555,213
自己株式の取得				△890	△890
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	459,874	△890	458,984
当期末残高	1,290,400	1,210,130	12,777,653	△981,269	14,296,914

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	297,480	297,480	353,288	14,488,698
当期変動額				
剰余金の配当				△95,339
親会社株主に帰属する当期純利益				555,213
自己株式の取得				△890
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△27,885	△27,885	15,898	△11,987
当期変動額合計	△27,885	△27,885	15,898	446,997
当期末残高	269,595	269,595	369,186	14,935,695

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,290,400	1,210,130	12,777,653	△981,269	14,296,914
当期変動額					
剰余金の配当			△95,332		△95,332
親会社株主に帰属する当期純利益			539,087		539,087
自己株式の取得				△465	△465
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	443,755	△465	443,290
当期末残高	1,290,400	1,210,130	13,221,408	△981,734	14,740,204

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	269,595	269,595	369,186	14,935,695
当期変動額				
剰余金の配当				△95,332
親会社株主に帰属する当期純利益				539,087
自己株式の取得				△465
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△72,744	△72,744	14,729	△58,015
当期変動額合計	△72,744	△72,744	14,729	385,275
当期末残高	196,851	196,851	383,915	15,320,970

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	830,825	766,820
減価償却費	144,290	135,763
負ののれん償却額	△5,786	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,556	△87,250
賞与引当金の増減額 (△は減少)	568	△2,465
修繕引当金の増減額 (△は減少)	7,500	7,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,352	△306
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,845	△10,430
受取利息及び受取配当金	△37,230	△32,030
支払利息	799	803
たな卸資産廃棄損	7,835	19,694
保険解約損益 (△は益)	△23,189	△10,650
売上債権の増減額 (△は増加)	64,467	323,520
たな卸資産の増減額 (△は増加)	21,880	△8,232
仕入債務の増減額 (△は減少)	△46,931	△212,191
未払消費税等の増減額 (△は減少)	19,120	7,060
その他	△111,254	△81,491
小計	874,535	816,115
利息及び配当金の受取額	43,402	42,999
利息の支払額	△219	△204
法人税等の支払額	△277,156	△249,192
営業活動によるキャッシュ・フロー	640,562	609,718
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△910,000	△600,000
定期預金の払戻による収入	710,000	600,000
有価証券の取得による支出	—	△400,000
有価証券の売却及び償還による収入	300,000	300,000
有形固定資産の取得による支出	△63,975	△49,003
無形固定資産の取得による支出	△6,130	—
投資有価証券の取得による支出	△601,099	△600,598
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,648	—
保険積立金の積立による支出	△46,830	△40,566
保険積立金の払戻による収入	155,000	116,219
その他	1,977	692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△459,409	△673,256
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△890	△465
リース債務の返済による支出	△13,975	△12,630
配当金の支払額	△95,411	△95,233
非支配株主への配当金の支払額	△2,447	△2,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△112,723	△110,775
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	68,430	△174,313
現金及び現金同等物の期首残高	2,741,821	2,810,251
現金及び現金同等物の期末残高	※ 2,810,251	※ 2,635,938

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 4社

主要な連結子会社の名称

イサムエアークール工業(株)

明勇色彩(株)

イサム土地建物(株)

進勇商事(株)

(2) 主要な非連結子会社の名称等

主要な非連結子会社

イサムモータープール(株)

(連結の範囲から除いた理由)

非連結子会社は、小規模会社であり、総資産、売上高、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の非連結子会社数

該当事項はありません。

(2) 持分法適用の関連会社数

該当事項はありません。

(3) 主要な持分法を適用しない非連結子会社及び関連会社名

主要な非連結子会社

イサムモータープール(株)

(持分法を適用しない理由)

持分法非適用会社は、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性がないため、持分法の適用から除外しております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の事業年度末日と連結決算日は一致しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

イ 有価証券

(イ) 満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）を採用しております。

(ロ) その他有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は、総平均法により算定）を採用しております。

時価のないもの

総平均法による原価法を採用しております。

ロ たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産

評価基準：原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

(イ) 製品・仕掛品

総平均法

(ロ) 商品・原材料・貯蔵品

先入先出法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

建物 10～50年

機械及び装置 8～10年

ロ 無形固定資産（リース資産を除く）及び長期前払費用

定額法を採用しております。

なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

ハ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

イ 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

ロ 賞与引当金

従業員に対する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

ハ 役員退職慰労引当金

役員に対する将来の退職慰労金の支出に備えて、役員退職慰労金規程（内規）に基づく期末要支給額を計上しております。

ニ 修繕引当金

イサム土地建物(株)はマンション経営を行っており、将来の定期的な大規模修繕に備えて当連結会計年度において発生していると認められる額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

当社及び連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなっております。

(6) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理

税抜方式

(連結貸借対照表関係)

1 輸出貿易信用状取引

輸出貿易信用状取引における銀行間決済未済の銀行手形買取残高があります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
銀行手形買取残高	7,544千円	3,204千円

2 当座貸越契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく連結会計年度末における借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
当座貸越極度額	2,000,000千円	2,000,000千円
借入実行残高	—	—
差引額	2,000,000	2,000,000

(連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要なものは次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
運送費	192,218千円	201,028千円
貸倒引当金繰入額	727	1,076
従業員給料	515,916	502,684
賞与及び賞与引当金繰入額	148,900	139,585
役員退職慰労引当金繰入額	19,774	16,705
退職給付費用	48,338	49,941

※2 当期製造費用に含まれる研究開発費の総額

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
	137,852千円	143,298千円

※3 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上原価に含まれているたな卸資産評価損	34,616千円	29,370千円

(連結包括利益計算書関係)

※ その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
その他有価証券評価差額金：		
当期発生額	△39,701千円	△103,382千円
組替調整額	—	—
税効果調整前	△39,701	△103,382
税効果額	11,819	30,633
その他有価証券評価差額金	△27,882	△72,749
その他の包括利益合計	△27,882	△72,749

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

## 1 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度期首 株式数 (株)	当連結会計年度 増加株式数 (株)	当連結会計年度 減少株式数 (株)	当連結会計年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	2,400,000	—	—	2,400,000
合計	2,400,000	—	—	2,400,000
自己株式				
普通株式(注)	493,140	231	—	493,371
合計	493,140	231	—	493,371

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加231株は、単元未満株式の買取りによるものであります。

## 2 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

## 3 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	47,672	25	2018年3月31日	2018年6月29日
2018年11月8日 取締役会	普通株式	47,668	25	2018年9月30日	2018年12月10日

## (2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	47,666	25	2019年3月31日	2019年6月28日

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度期首 株式数（株）	当連結会計年度 増加株式数（株）	当連結会計年度 減少株式数（株）	当連結会計年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	2,400,000	—	—	2,400,000
合計	2,400,000	—	—	2,400,000
自己株式				
普通株式(注)	493,371	128	—	493,499
合計	493,371	128	—	493,499

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加128株は、単元未満株式の買取りによるものであります。

2 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	47,666	25	2019年3月31日	2019年6月28日
2019年11月7日 取締役会	普通株式	47,666	25	2019年9月30日	2019年12月10日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	47,663	25	2020年3月31日	2020年6月29日

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
現金及び預金勘定	4,820,251千円	4,645,938千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△2,010,000	△2,010,000
現金及び現金同等物	2,810,251	2,635,938

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであり、「塗料」及び「不動産賃貸業」からなりますが、「不動産賃貸業」は重要性が無いため報告セグメントの開示は行っておりません。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	7,842,434	102,934	7,945,368	—	7,945,368
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62	—	62	△62	—
計	7,842,496	102,934	7,945,430	△62	7,945,368
セグメント利益	608,440	53,626	662,066	—	662,066
セグメント資産	17,384,838	923,497	18,308,335	—	18,308,335
セグメント負債	3,246,891	125,749	3,372,640	—	3,372,640
その他の項目					
減価償却費	129,730	14,560	144,290	—	144,290
有形固定資産増加額	63,540	—	63,540	—	63,540
無形固定資産増加額	6,130	—	6,130	—	6,130

(注) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△62千円はセグメント間取引消去であります。

当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	7,383,681	102,190	7,485,871	—	7,485,871
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,383,681	102,190	7,485,871	—	7,485,871
セグメント利益	570,252	48,780	619,032	—	619,032
セグメント資産	17,444,791	893,550	18,338,341	—	18,338,341
セグメント負債	2,893,858	123,513	3,017,371	—	3,017,371
その他の項目					
減価償却費	121,223	14,540	135,763	—	135,763
有形固定資産増加額	72,340	—	72,340	—	72,340
無形固定資産増加額	29,197	—	29,197	—	29,197

【関連情報】

前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

塗料事業における外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないためならびに海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

塗料事業における外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないためならびに海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

(単位：千円)

	塗料事業	その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
当期償却額	—	—	—	5,786	5,786
当期末残高	—	—	—	—	—

当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	7,639.93円	7,834.80円
1株当たり当期純利益	291.18円	282.75円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	555,213	539,087
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益(千円)	555,213	539,087
普通株式の期中平均株式数(株)	1,906,745	1,906,565

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。